

平成 31 年度

当初予算の概要

尼 崎 市

目 次

| | | |
|--------|---------------------|----|
| I | 平成 31 年度当初予算会計別予算規模 | 1 |
| II | 一般会計当初予算の概要 | 3 |
| III | 特別会計・企業会計当初予算の概要 | 8 |
| IV | 一般会計歳入予算額 | 11 |
| V | 一般会計歳出予算額 | |
| ○ | 歳出款別予算額 | 16 |
| ○ | 歳出性質別予算額 | 19 |
| (参考資料) | | |
| ・ | 各種当初予算数値 | |
| 1 | 会計別予算規模 | 24 |
| 2 | 会計別当初予算額 | 25 |
| 3 | 一般会計歳入予算額① | 26 |
| 4 | 一般会計歳入予算額② | 27 |
| 5 | 一般会計歳出款別予算額 | 28 |
| 6 | 一般会計歳出性質別予算額 | 29 |
| 7 | 基金現在高集計表 | 30 |
| ・ | 用語解説 | 31 |

金額等は、表示単位未満を四捨五入しているため、表内において積み上げと合計が一致しない場合がある。

I 平成31年度当初予算会計別予算規模

- 1 一般会計における予算規模は、2,050億円で、前年度と比べ16億円の減となっている。これは主に市債の借換えの減に伴う公債費の減によるものである。
 なお、借換債を除く予算規模は26億88百万円の増となっている。これは、幼児教育・保育の無償化等による扶助費の増や減債基金を活用した市債の早期償還の増等による公債費の増などによるものである。
- 2 特別会計（10会計）の予算規模は、1,009億43百万円で、前年度と比べ14億73百万円の増となっている。これは、基金の設置等による国民健康保険事業費会計の増や認定者数の増等による介護保険事業費会計の増などによるものである。
- 3 企業会計（4会計）の予算規模は、747億31百万円で、前年度と比べ16億41百万円の減となっている。これは、償還金の減等による下水道事業会計の減などによるものである。

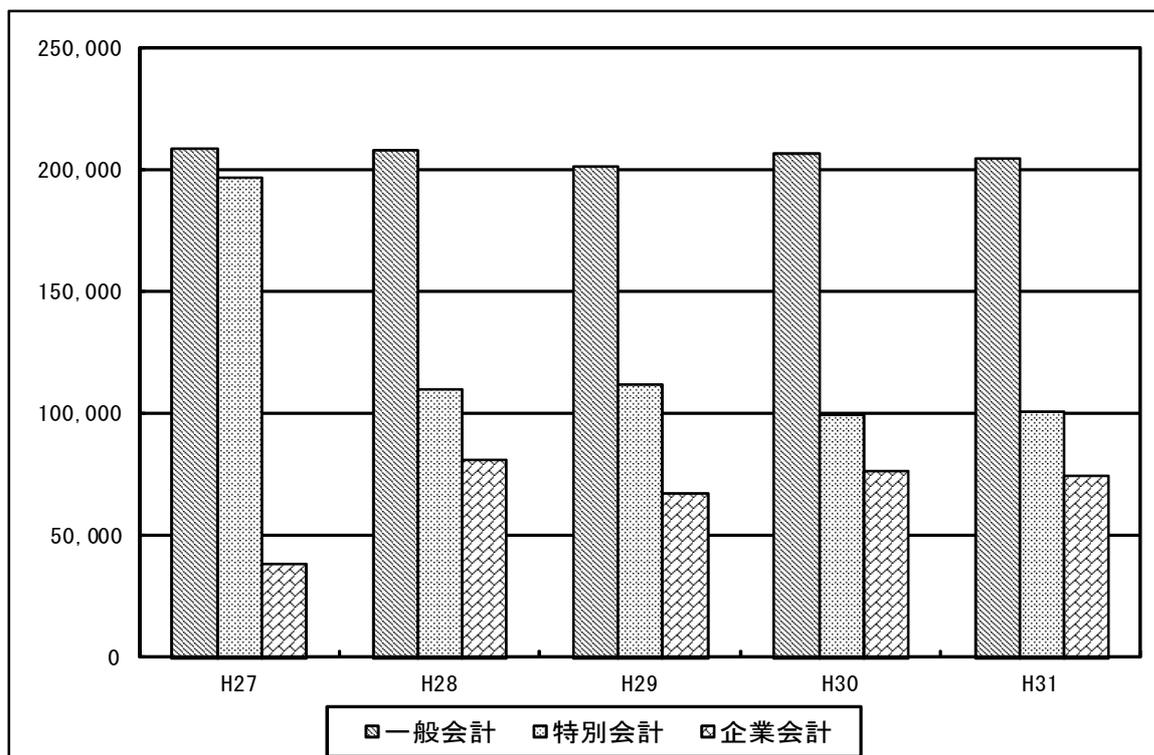
＜会計別予算規模＞

(単位：百万円、%)

| 会 計 | 平成31年度 | | | 平成30年度 | | | 比較増減 |
|---------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | |
| 一 般 会 計 | 205,000 | 53.9 | 99.2 | 206,600 | 54.0 | 102.4 | △ 1,600 |
| 借換債を除く | 201,009 | | 101.4 | 198,321 | | 99.8 | 2,688 |
| 特 別 会 計 | 100,943 | 26.5 | 101.5 | 99,470 | 26.0 | 88.9 | 1,473 |
| 小 計 | 305,943 | 80.4 | 100.0 | 306,070 | 80.0 | 97.6 | △ 127 |
| 企 業 会 計 | 74,731 | 19.6 | 97.9 | 76,372 | 20.0 | 113.9 | △ 1,641 |
| 合 計 | 380,674 | 100.0 | 99.5 | 382,442 | 100.0 | 100.5 | △ 1,768 |

<会計別当初予算額の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 会計 | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | |
|------|---------|--------|------|---------|---------|-------|---------|---------|-------|
| | 当初予算額 | 前年増減額 | 伸び率 | 当初予算額 | 前年増減額 | 伸び率 | 当初予算額 | 前年増減額 | 伸び率 |
| 一般会計 | 208,540 | 8,730 | 4.4 | 208,100 | △440 | △0.2 | 201,700 | △6,400 | △3.1 |
| 特別会計 | 197,299 | 13,302 | 7.2 | 109,910 | △87,389 | △44.3 | 111,886 | 1,977 | 1.8 |
| 企業会計 | 38,612 | △658 | △1.7 | 80,958 | 42,346 | 109.7 | 67,074 | △13,884 | △17.1 |
| 合計 | 444,451 | 21,374 | 5.1 | 398,968 | △45,483 | △10.2 | 380,660 | △18,308 | △4.6 |

(単位：百万円、%)

| 会計 | 平成30年度 | | | 平成31年度 | | |
|------|---------|---------|-------|---------|--------|------|
| | 当初予算額 | 前年増減額 | 伸び率 | 当初予算額 | 前年増減額 | 伸び率 |
| 一般会計 | 206,600 | 4,900 | 2.4 | 205,000 | △1,600 | △0.8 |
| 特別会計 | 99,470 | △12,417 | △11.1 | 100,943 | 1,473 | 1.5 |
| 企業会計 | 76,372 | 9,298 | 13.9 | 74,731 | △1,641 | △2.1 |
| 合計 | 382,442 | 1,781 | 0.5 | 380,674 | △1,768 | △0.5 |

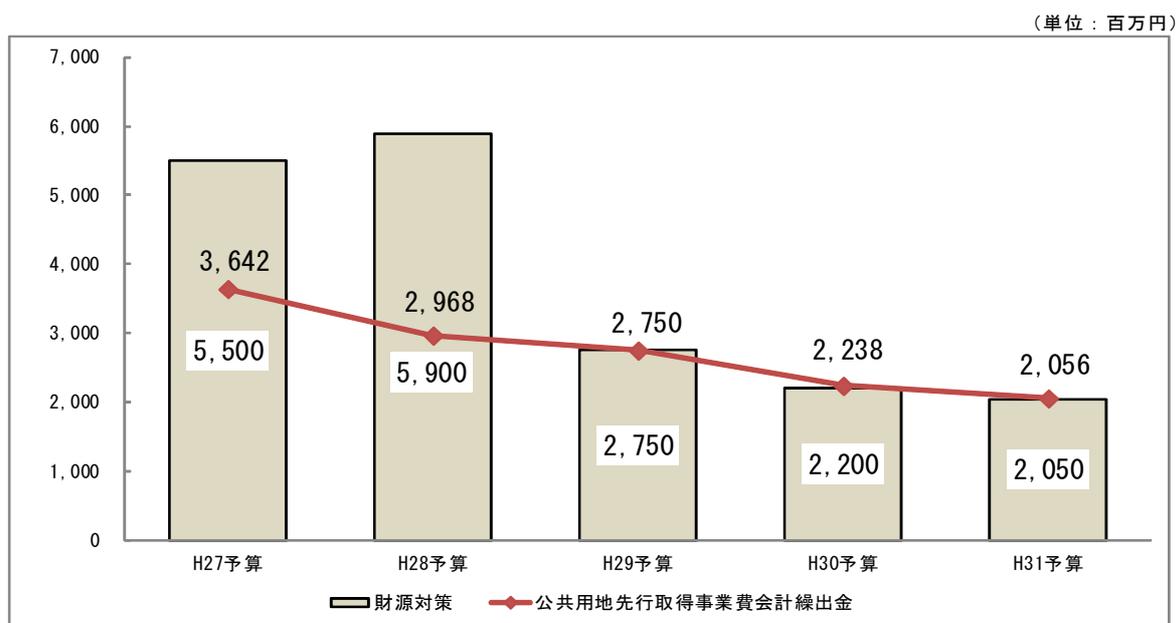
Ⅱ 一般会計当初予算の概要

① 収支の状況

歳出の一般財源ベースにおいては、児童扶養手当給付関係事業費や施設型給付費などの扶助費の増や、学校施設耐震化事業における市債の償還が本格化することなどによる公債費の増があるものの、歳入において個人市民税や法人市民税などの市税収入の増などにより主要一般財源が増加することなどから、「あまがさき『未来へつなぐ』プロジェクト」の中間総括で示した財政規律である公共用地先行取得事業費会計繰出金を除いての収支均衡を確保している。

なお、公共用地先行取得事業費会計繰出金相当の収支不足に対しては、財政調整基金の活用による財源対策 20 億 50 百万円を講じている。

<財源対策と公共用地先行取得事業費会計繰出金の推移>



(歳入の増減の主なもの)

| | | |
|-----------------------|--------------|--------------------|
| (1) 市税の増 | 13 億 12 百万円 | ※記載金額は、 一般財源ベース |
| (2) 子ども・子育て支援臨時交付金の皆増 | 4 億 95 百万円 | |
| (3) 実質的な地方交付税の減 | △10 億 47 百万円 | |

(歳出の増減の主なもの)

| | |
|-------------|-------------|
| (1) 扶助費の増 | 7 億 81 百万円 |
| (2) 公債費の増 | 3 億 15 百万円 |
| (3) 投資的経費の減 | △3 億 93 百万円 |

② 基金の状況

主要基金の平成 31 年度末現在高見込額は、146 億 11 百万円で、前年度末現在高見込額と比べ 34 億 2 百万円の減となっている。

基金別に計画的・戦略的な積立及び取崩しを行っているが、その内容は以下のとおりとなっている。

1 財政調整基金は、財源対策として取崩しを行うことなどから、前年度末現在高見込額より 20 億 35 百万円減少し、47 億 40 百万円となっている。

2 減債基金は、大規模な不動産売払収入を積み立てる一方、過去の財源対策に活用した退職手当債 30 億円の早期償還を進めるため取崩しを行うことなどから、前年度末現在高見込額より 15 億 90 百万円減少し、62 億 63 百万円となっている。

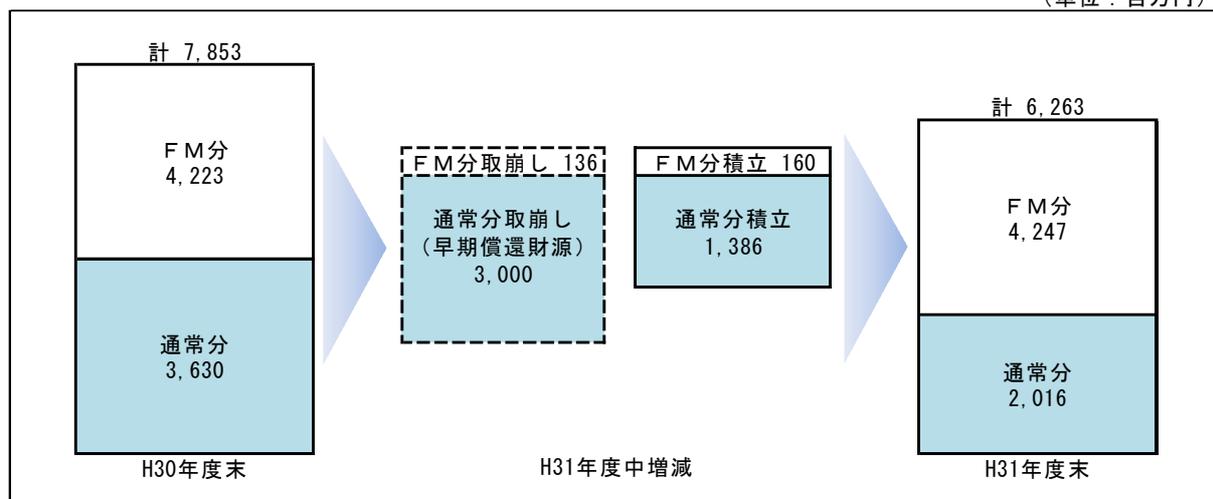
なお、公共施設マネジメント計画にかかる不動産売払収入については、2分の1を減債基金に積み立て、当該取組に際し発行した市債の償還に充当する。

3 公共施設整備保全基金は、公共施設マネジメント計画にかかる不動産売払収入の2分の1を積み立てることなどから、前年度末現在高見込額より 2 億 24 百万円増加し、36 億 7 百万円となっている。

なお、今後は公共施設マネジメント計画にかかる事業費の一般財源負担を平準化するための財源として、当該基金を活用することとしている。

<減債基金の増減内容>

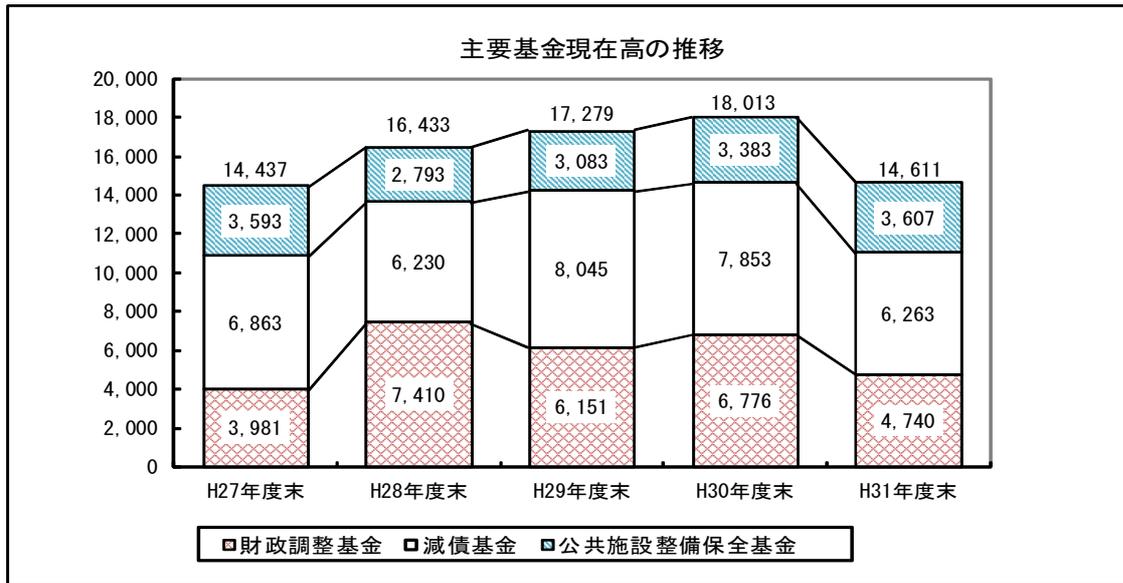
(単位：百万円)



※ F M分＝公共施設マネジメント計画分

<主要基金の年度末現在高の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| 区分 | H27年度末 現在高 | H28年度末 現在高 | H29年度末 現在高 | H30年度末 現在高見込 | H31年度末 現在高見込 | 前年増減 |
|------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|---------|
| 主要基金現在高 | 14,437 | 16,433 | 17,279 | 18,013 | 14,611 | △ 3,402 |
| 財政調整基金 | 3,981 | 7,410 | 6,151 | 6,776 | 4,740 | △ 2,035 |
| 減債基金 | 6,863 | 6,230 | 8,045 | 7,853 | 6,263 | △ 1,590 |
| (うちFM分) | 738 | 738 | 2,551 | 4,223 | 4,247 | 24 |
| 公共施設整備保全基金 | 3,593 | 2,793 | 3,083 | 3,383 | 3,607 | 224 |
| (うちFM分) | - | - | - | - | 160 | 160 |

<減債基金を活用した市債の早期償還の内容>

(単位：百万円)

| 区分 | H30年度末 現在高見込 | H31年度中 | | H31年度末 現在高見込 |
|----------|-----------------|--------|-------|-----------------|
| | | 通常償還額 | 早期償還額 | |
| 退職手当債 | 6,952 | 797 | 3,000 | 3,155 |
| 行政改革推進債等 | 10,884 | 1,041 | - | 9,844 |
| 合計 | 17,836 | 1,838 | 3,000 | 12,998 |

※ 償還額は借換分を除く

<公共施設マネジメント計画にかかる市債・減債基金>

(単位：百万円)

| 区分 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | 前年増減 |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|
| 市債 | | | | | | |
| 年度末現在高 | 398 | 2,868 | 5,123 | 8,792 | 10,222 | 1,430 |
| 償還元金 | - | - | - | 44 | 272 | 229 |
| 減債基金 | | | | | | |
| 年度末現在高 | 738 | 738 | 2,551 | 4,223 | 4,247 | 24 |
| 積立額 | 738 | - | 1,813 | 1,694 | 160 | △ 1,534 |
| 取崩額 | - | - | - | 22 | 136 | 114 |

③ 市債の状況

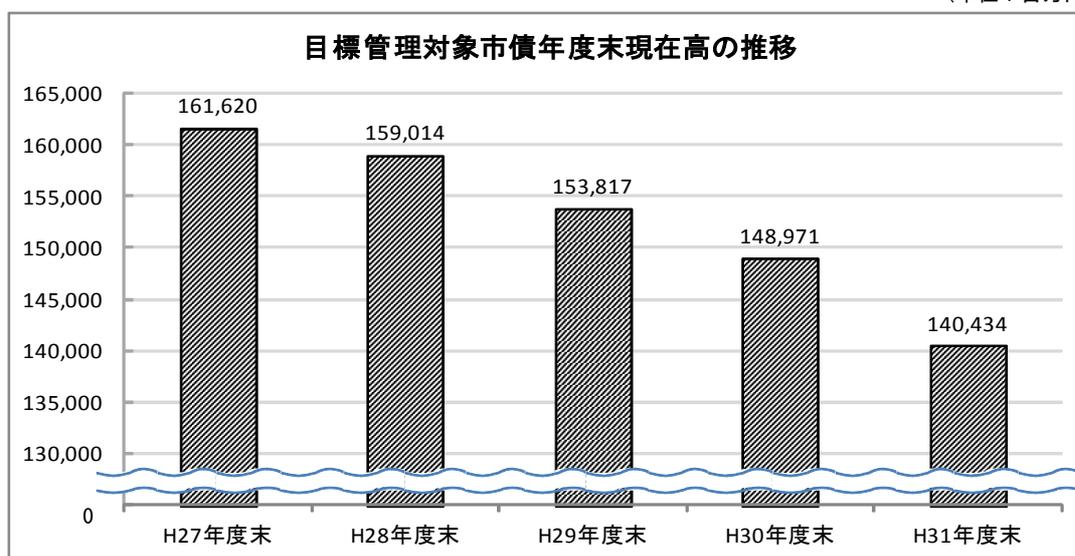
市債の平成 31 年度末現在高見込額は、2,343 億 2 百万円で、前年度末現在高見込額と比べ 83 億 92 百万円の減となっている。これは、市債の早期償還を行うことによる退職手当債の減や、教育債の減などによるものである。

また、目標管理対象分の市債の償還元金は前年度に比べ 13 億 4 百万円の増となっている。これは、市債の早期償還の増や学校施設耐震化事業の償還が本格化することによる教育債の償還の増などによるものである。

なお、目標管理対象分の市債発行額については、償還元金を下回っている。

<一般会計市債年度末現在高の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| 区 分 | H27年度末 現在高 | H28年度末 現在高 | H29年度末 現在高 | H30年度末 現在高見込 | H31年度末 現在高見込 | 前年増減 |
|----------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|---------|
| 市債現在高 | 248,669 | 248,943 | 245,621 | 242,694 | 234,302 | △ 8,392 |
| 目標管理対象分 | 161,620 | 159,014 | 153,817 | 148,971 | 140,434 | △ 8,537 |
| 目標管理対象外分 | 87,049 | 89,929 | 91,803 | 93,723 | 93,868 | 145 |

※目標管理対象外の市債は臨時財政対策債、減取補てん債（特例分）、減税補てん債、臨時税収補てん債（～H29）、災害復旧債

<目標管理対象分における市債の発行及び償還>

(単位：百万円)

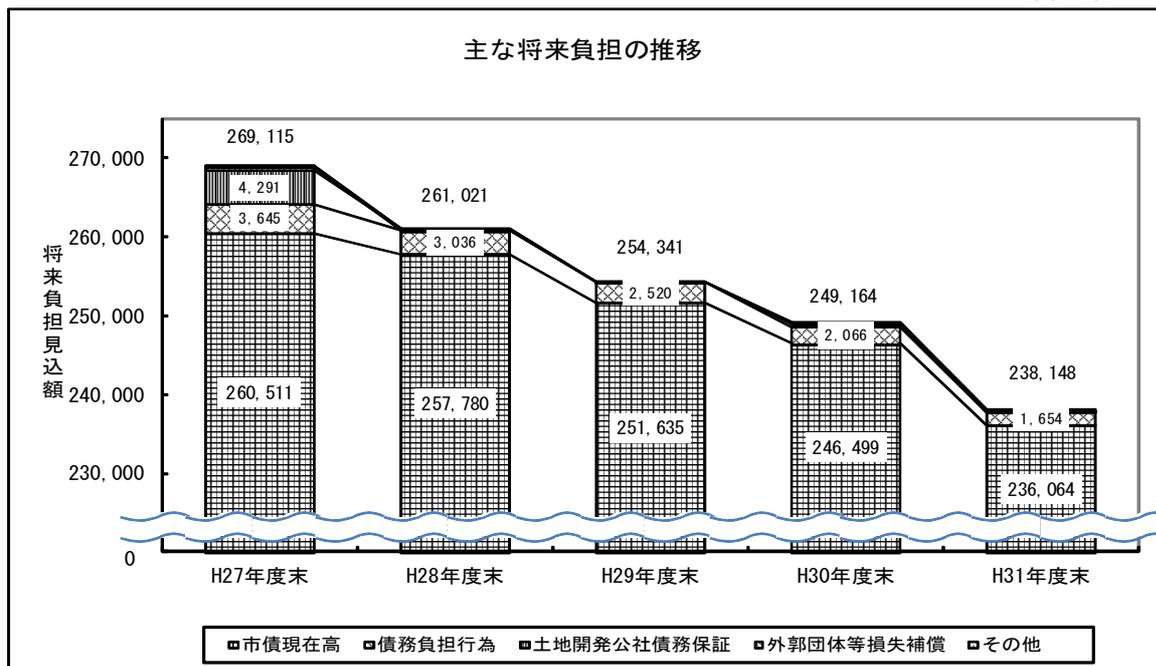
| 区 分 | 平成31年度 | 平成30年度 | 比較増減 |
|-----------------|--------|--------|---------|
| 市債発行額（目標管理対象分） | 7,016 | 8,214 | △ 1,198 |
| 市債償還元金（目標管理対象分） | 16,792 | 15,488 | 1,304 |
| うち早期償還分 | 3,000 | 2,000 | 1,000 |
| うち学校施設耐震化事業分 | 2,292 | 1,835 | 456 |
| 償還元金－発行額 | 9,775 | 7,274 | 2,501 |

【参考】

一般会計の市債のほか、特別会計の市債や債務負担行為のうち公債費に準じるもの、土地開発公社債務保証などを含めた主な将来負担の平成 31 年度末現在高見込額は、2,381 億 48 百万円で、前年度と比べ 110 億 16 百万円の減となっている。これは、一般会計における市債現在高見込額の減のほか、特別会計のうち、公共用地先行取得事業費における市債現在高見込額の減などによるものである。

＜主な将来負担の推移＞

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| 区分 | H27年度末 現在高 | H28年度末 現在高 | H29年度末 現在高 | H30年度末 現在高見込 | H31年度末 現在高見込 | 前年増減 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|----------|
| 市債現在高 | 260,511 | 257,780 | 251,635 | 246,499 | 236,064 | △ 10,435 |
| 一般会計 | 248,669 | 248,943 | 245,621 | 242,694 | 234,302 | △ 8,392 |
| (うち臨時財政対策債) | 79,287 | 83,341 | 86,401 | 89,168 | 89,814 | 646 |
| (うち教育債) | 48,361 | 49,988 | 50,508 | 50,580 | 47,540 | △ 3,040 |
| 特別会計 | 11,841 | 8,837 | 6,014 | 3,806 | 1,762 | △ 2,043 |
| その他の将来負担 | 8,604 | 3,241 | 2,706 | 2,664 | 2,084 | △ 581 |
| 債務負担行為 | 3,645 | 3,036 | 2,520 | 2,066 | 1,654 | △ 413 |
| 土地開発公社債務保証 | 4,291 | 48 | 48 | 297 | 159 | △ 138 |
| 外郭団体等損失補償 | 522 | 52 | 42 | 231 | 221 | △ 10 |
| その他 | 146 | 105 | 96 | 70 | 50 | △ 20 |
| 合計 | 269,115 | 261,021 | 254,341 | 249,164 | 238,148 | △ 11,016 |

注1 債務負担行為は、南部地域公園整備事業（～H31）、JR尼崎駅北地区駐車場整備事業、特別養護老人ホーム等整備事業、あまがさき緑遊新都心土地区画整理事業

注2 外郭団体等損失補償は、尼崎健康医療財団（～H28）、阪神福祉事業団

注3 その他は、丹波少年自然の家、阪神水道企業団

Ⅲ 特別会計・企業会計当初予算の概要

<特別会計・企業会計予算規模の内訳>

(単位：百万円)

| 会 計 | | 平成31年度 当初予算額 | 平成30年度 当初予算額 | 比較増減 |
|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|
| 特 別 会 計 | 国民健康保険事業費 | 49,316 | 48,730 | 586 |
| | 地方卸売市場事業費 | 335 | 304 | 31 |
| | 育英事業費 | 8 | 8 | 0 |
| | 農業共済事業費 | 17 | 18 | △ 2 |
| | 公共用地先行取得事業費 | 2,061 | 2,243 | △ 182 |
| | 公害病認定患者救済事業費 | 26 | 27 | △ 1 |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 | 27 | 23 | 3 |
| | 青少年健全育成事業費 | 9 | 10 | 0 |
| | 介護保険事業費 | 42,982 | 42,286 | 696 |
| | 後期高齢者医療事業費 | 6,161 | 5,819 | 342 |
| | 計 | 100,943 | 99,470 | 1,473 |
| 企 業 会 計 | 水道事業 | 11,849 | 12,371 | △ 523 |
| | 工業用水道事業 | 2,023 | 2,023 | 0 |
| | 下水道事業 | 20,276 | 21,340 | △ 1,065 |
| | モーターボート競走事業 | 40,583 | 40,637 | △ 54 |
| | 計 | 74,731 | 76,372 | △ 1,641 |

特別会計、企業会計のうち主な会計の内容は次のとおりとなっている。

- 1 国民健康保険事業費会計は、予算規模 493 億 16 百万円で、歳入の主な内容は、県支出金 322 億 40 百万円、国民健康保険料 80 億 11 百万円、歳出の主な内容は、保険給付費 312 億 2 百万円、国民健康保険事業費納付金 130 億 37 百万円である。
前年度と比べ 5 億 86 百万円の増となっているのは、保険給付費が減となったものの、国民健康保険事業基金の設置に伴う基金積立金の皆増などによるものである。
- 2 公共用地先行取得事業費会計は、予算規模 20 億 61 百万円で、歳入の主な内容は、他会計繰入金 20 億 56 百万円、歳出の内容は、公債費 20 億 61 百万円である。
前年度と比べ 1 億 82 百万円の減となっているのは、公債費の減によるものである。
- 3 介護保険事業費会計は、予算規模 429 億 82 百万円で、歳入の主な内容は、支払基金交付金 112 億 7 百万円、国庫支出金 100 億 91 百万円、歳出の主な内容は、保険給付費 395 億 67 百万円である。
前年度と比べ 6 億 96 百万円の増となっているのは、保険給付費の増などによるものである。
- 4 後期高齢者医療事業費会計は、予算規模 61 億 61 百万円で、歳入の主な内容は、後期高齢者医療保険料 48 億 30 百万円、歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金 60 億 70 百万円である。
前年度と比べ 3 億 42 百万円の増となっているのは、後期高齢者医療広域連合納付金の増などによるものである。
- 5 水道事業会計は、予算規模 118 億 49 百万円で、収益的収支の主な内容は、営業収益 95 億 70 百万円、営業費用 85 億 16 百万円、資本的収支の主な内容は、企業債 7 億円、施設整備事業費 14 億 34 百万円である。
前年度と比べ 5 億 23 百万円の減となっているのは、建設改良費で増となったものの、施設整備事業費の減などによるものである。
- 6 工業用水道事業会計は、予算規模 20 億 23 百万円で、収益的収支の主な内容は、営業収益 12 億 13 百万円、営業費用 9 億 91 百万円、資本的収支の主な内容は、固定資産売却代 38 百万円、施設整備事業費 2 億 67 百万円である。

7 下水道事業会計は、予算規模 202 億 76 百万円で、収益的収支の主な内容は、営業収益 103 億 89 百万円、営業費用 107 億 90 百万円、資本的収支の主な内容は、国庫補助金 27 億 49 百万円、建設改良費 62 億 11 百万円である。

前年度と比べ 10 億 65 百万円の減となっているのは、償還金や建設改良費の減などによるものである。

8 モーターボート競走事業会計は、予算規模 405 億 83 百万円で、収益的収支の主な内容は、営業収益 391 億 24 百万円、営業費用 385 億 39 百万円、資本的収支の主な内容は、投資有価証券 12 億 80 百万円である。

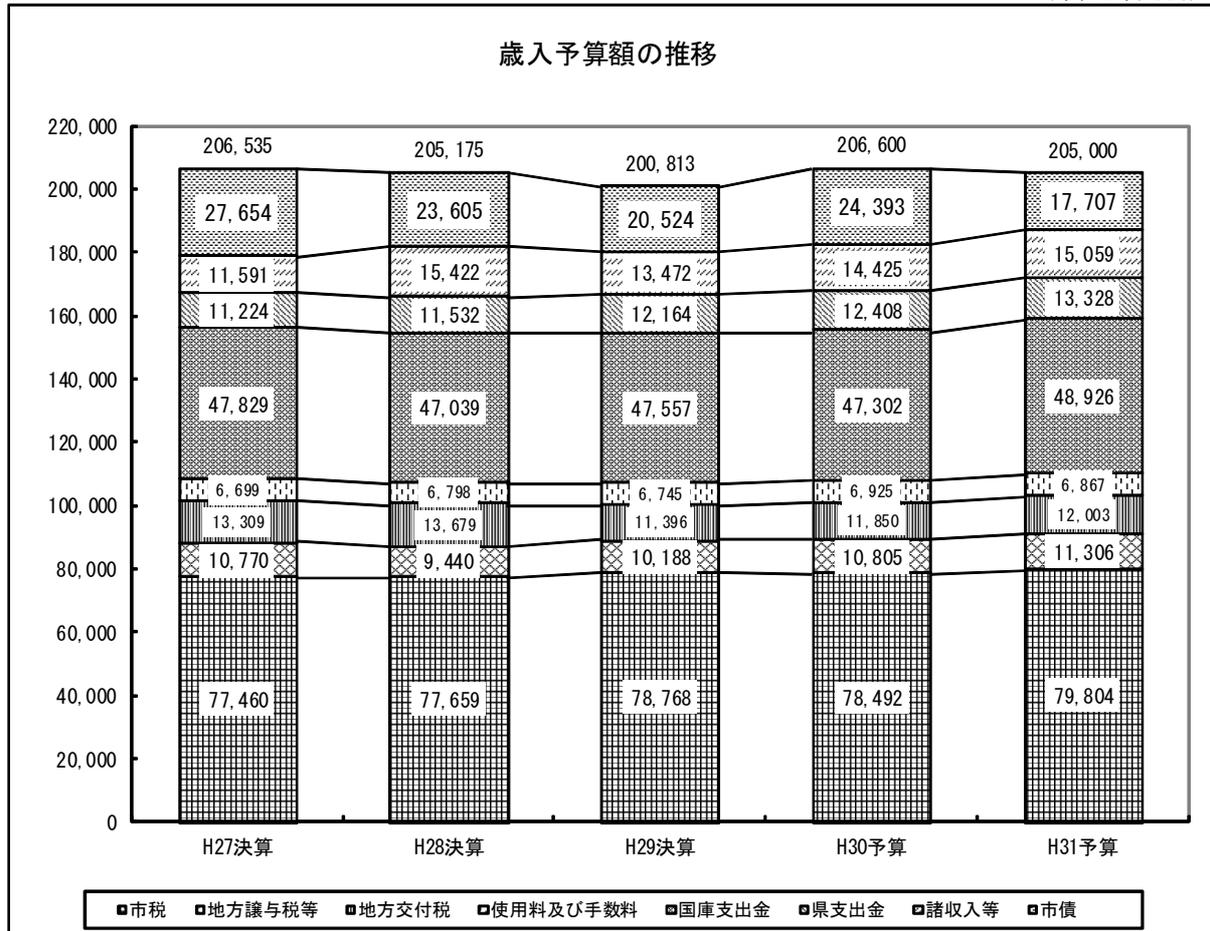
前年度と比べ 54 百万円の減となっているのは、投資有価証券で皆増となったものの営業費用の減などによるものである。

IV 一般会計歳入予算額

一般会計の歳入予算額は、2,050 億円で、前年度と比べ 16 億円の減となっている。主な款別の予算額は、以下のとおりとなっている。

<歳入予算額の推移>

(単位：百万円)



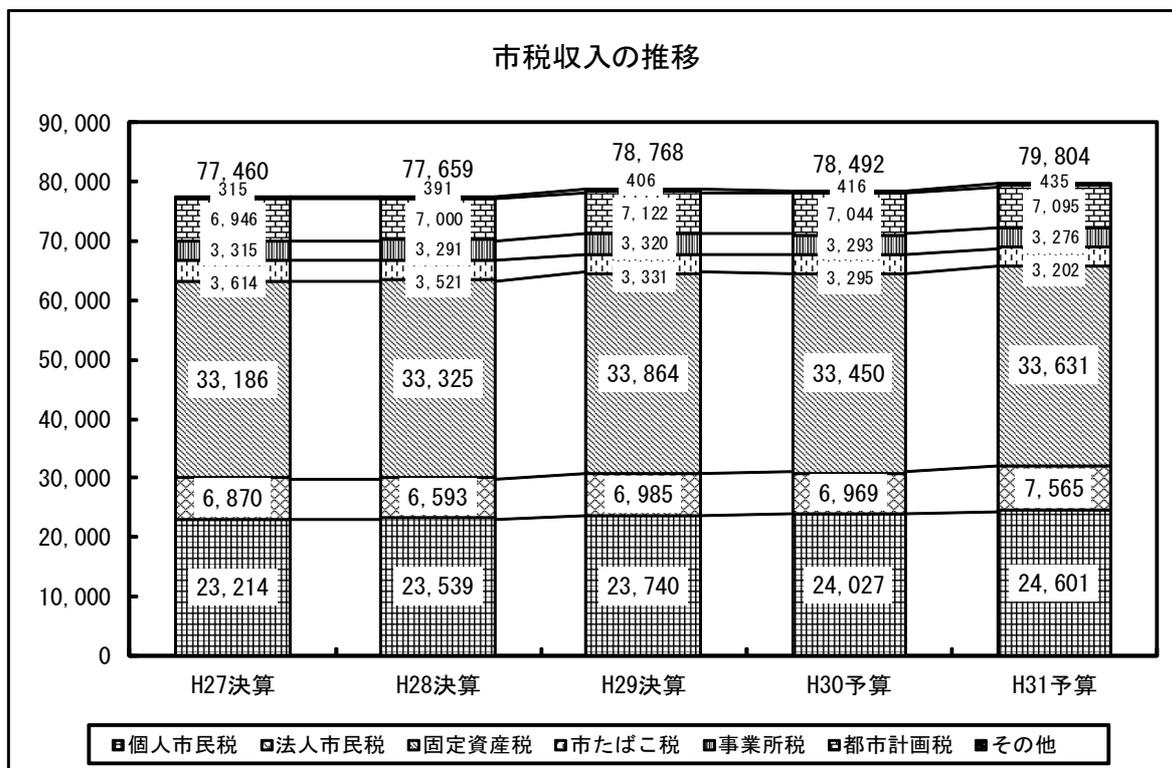
(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | | H31 構成比 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金 額 | 率 | |
| 市税 | 77,460 | 77,659 | 78,768 | 78,492 | 79,804 | 1,312 | 1.7 | 38.9 |
| 地方譲与税等 | 10,770 | 9,440 | 10,188 | 10,805 | 11,306 | 500 | 4.6 | 5.6 |
| 地方交付税 | 13,309 | 13,679 | 11,396 | 11,850 | 12,003 | 153 | 1.3 | 5.9 |
| 使用料及び手数料 | 6,699 | 6,798 | 6,745 | 6,925 | 6,867 | △ 58 | △ 0.8 | 3.3 |
| 国庫支出金 | 47,829 | 47,039 | 47,557 | 47,302 | 48,926 | 1,625 | 3.4 | 23.9 |
| 県支出金 | 11,224 | 11,532 | 12,164 | 12,408 | 13,328 | 920 | 7.4 | 6.5 |
| 諸収入等 | 11,591 | 15,422 | 13,472 | 14,425 | 15,059 | 635 | 4.4 | 7.3 |
| 市債 | 27,654 | 23,605 | 20,524 | 24,393 | 17,707 | △ 6,686 | △ 27.4 | 8.6 |
| 歳入合計 | 206,535 | 205,175 | 200,813 | 206,600 | 205,000 | △ 1,600 | △ 0.8 | 100.0 |

- 1 市税は、798 億 4 百万円で、前年度と比べ 13 億 12 百万円の増となっている。
 主な税目は、以下のとおりである。
- (1) 個人市民税は、246 億 1 百万円で、納税義務者数の増などにより、前年度と比べ 2.4%の増となっている。
 - (2) 法人市民税は、75 億 65 百万円で、企業収益の増などにより、前年度と比べ 8.6%の増となっている。
 - (3) 固定資産税は、336 億 31 百万円で、家屋の新增築などにより、前年度と比べ 0.5%の増となっている。

<市税の税目別推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金額等 | 率 |
| 個人市民税 | 23,214 | 23,539 | 23,740 | 24,027 | 24,601 | 574 | 2.4 |
| 法人市民税 | 6,870 | 6,593 | 6,985 | 6,969 | 7,565 | 596 | 8.6 |
| 固定資産税 | 33,186 | 33,325 | 33,864 | 33,450 | 33,631 | 181 | 0.5 |
| 市たばこ税 | 3,614 | 3,521 | 3,331 | 3,295 | 3,202 | △ 93 | △ 2.8 |
| 事業所税 | 3,315 | 3,291 | 3,320 | 3,293 | 3,276 | △ 18 | △ 0.5 |
| 都市計画税 | 6,946 | 7,000 | 7,122 | 7,044 | 7,095 | 51 | 0.7 |
| その他 | 315 | 391 | 406 | 416 | 435 | 19 | 4.6 |
| 市税収入 | 77,460 | 77,659 | 78,768 | 78,492 | 79,804 | 1,312 | 1.7 |
| 納税義務者数 | 206,833 | 209,290 | 213,018 | 213,213 | 217,920 | 4,707 | 2.2 |

注 納税義務者数は各年度5月31日時点の個人市民税（均等割）での人数 [H30・H31は見込]

2 地方譲与税等は、113 億 6 百万円で、その主な内容は、地方消費税交付金 82 億 50 百万円、地方特例交付金 9 億 21 百万円である。

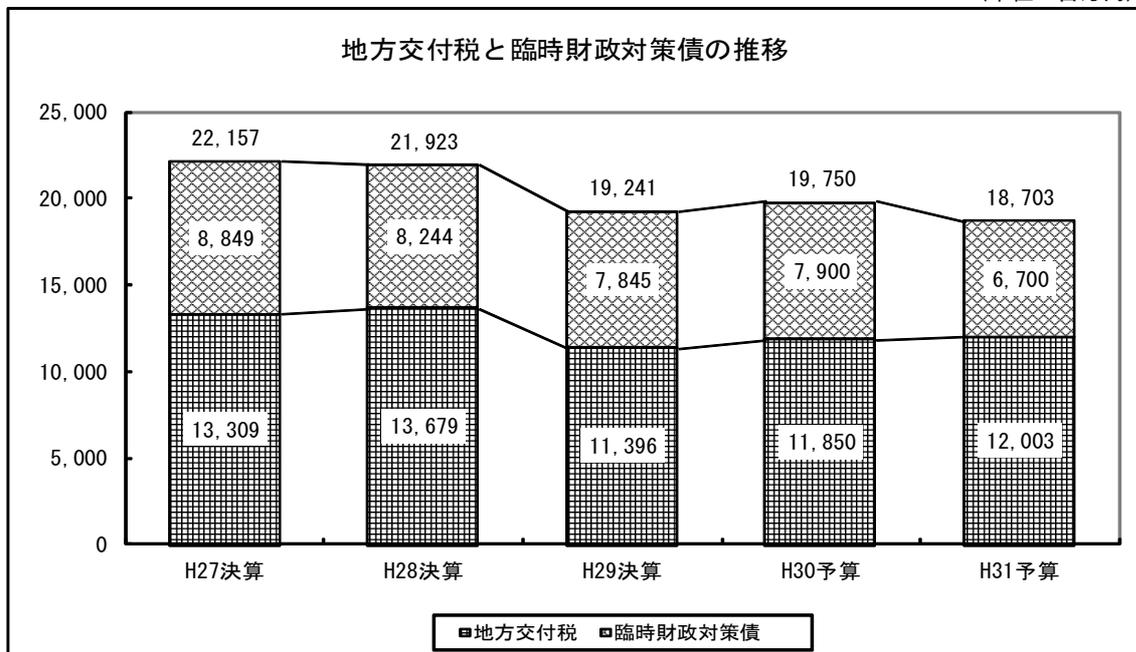
前年度と比べ 5 億円の増となっているのは、幼児教育・保育の無償化にかかる地方負担分の措置として、子ども・子育て支援臨時交付金が交付されることなどによるものである。

3 地方交付税は、120 億 3 百万円で、その主な内容は、普通交付税 115 億 69 百万円であり、前年度と比べると 1 億 53 百万円の増となっている。

なお、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は、187 億 3 百万円で、前年度と比べ 10 億 47 百万円の減となっている。

<地方交付税と臨時財政対策債の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金 額 | 率 |
| 地方交付税 | 13,309 | 13,679 | 11,396 | 11,850 | 12,003 | 153 | 1.3 |
| 普通交付税 | 12,818 | 13,180 | 10,925 | 11,408 | 11,569 | 161 | 1.4 |
| 特別交付税 | 491 | 500 | 471 | 442 | 434 | △ 8 | △ 1.8 |
| 臨時財政対策債 | 8,849 | 8,244 | 7,845 | 7,900 | 6,700 | △ 1,200 | △ 15.2 |
| 合 計 | 22,157 | 21,923 | 19,241 | 19,750 | 18,703 | △ 1,047 | △ 5.3 |

(単位：百万円、%)

| 区 分 | H30 見込 | H31 当初 | 前年増減 | |
|---------|-----------|-----------|---------|--------|
| | | | 金 額 | 率 |
| 地方交付税 | 12,139 | 12,003 | △ 136 | △ 1.1 |
| 普通交付税 | 11,697 | 11,569 | △ 128 | △ 1.1 |
| 特別交付税 | 442 | 434 | △ 8 | △ 1.8 |
| 臨時財政対策債 | 8,175 | 6,700 | △ 1,475 | △ 18.0 |
| 合 計 | 20,314 | 18,703 | △ 1,611 | △ 7.9 |

4 使用料及び手数料は、68 億 67 百万円で、その主な内容は、住宅家賃 27 億 68 百万円、道路占用料 8 億 83 百万円である。

前年度と比べ 58 百万円の減となっているのは、尼崎城天守等使用料で増となったものの、幼児教育・保育の無償化に伴う保育所使用料や幼稚園保育料の減などによるものである。

5 国庫支出金は、489 億 26 百万円で、その主な内容は、生活保護費等負担金 247 億 76 百万円、障害者（児）自立支援事業費負担金 55 億 91 百万円である。

前年度と比べ 16 億 25 百万円の増となっているのは、施設型給付費負担金やプレミアム付商品券事業費補助金の増などによるものである。

6 県支出金は、133 億 28 百万円で、その主な内容は、障害者（児）自立支援事業費負担金 27 億 95 百万円、保険基盤安定負担金 23 億 98 百万円である。

前年度と比べ 9 億 20 百万円の増となっているのは、施設型給付費負担金や選挙委託金の増などによるものである。

7 諸収入等は、150 億 59 百万円で、前年度と比べ 6 億 35 百万円の増となっている。

(1) 分担金及び負担金は、11 億 41 百万円で、その主な内容は、児童福祉費負担金 10 億 97 百万円である。

前年度と比べ 3 億 61 百万円の減となっているのは、幼児教育・保育の無償化に伴う児童福祉費負担金の減などによるものである。

(2) 財産収入は、22 億 9 百万円で、その主な内容は、尼崎東警察署跡地などの不動産売払収入 17 億 14 百万円である。

前年度と比べ 5 億 91 百万円の増となっているのは、不動産売払収入の増などによるものである。

(3) 繰入金は、53 億 1 百万円で、その主な内容は、減債基金繰入金 31 億 36 百万円、財政調整基金繰入金 20 億 50 百万円である。

前年度と比べ 6 億 30 百万円の増となっているのは、公共施設整備保全基金繰入金で減となったものの、減債基金繰入金の増などによるものである。

(4) 諸収入は、63 億 49 百万円で、その主な内容は、公害健康被害補償給付費等収入 29 億 72 百万円、民活法人支援事業貸付金回収金 6 億 21 百万円、廃棄物発電収入 4 億 3 百万円である。

前年度と比べ 1 億 60 百万円の減となっているのは、中小企業資金融資あっ旋預託金回収金や公害健康被害補償給付費等収入の減などによるものである。

8 市債は、177 億 7 百万円で、その主な内容は、臨時財政対策債 67 億円、借換債 39 億 91 百万円、生涯学習プラザ等整備事業債 12 億 55 百万円である。

前年度と比べ 66 億 86 百万円の減となっているのは、借換債や臨時財政対策債の減などによるものである。

<市債の内訳>

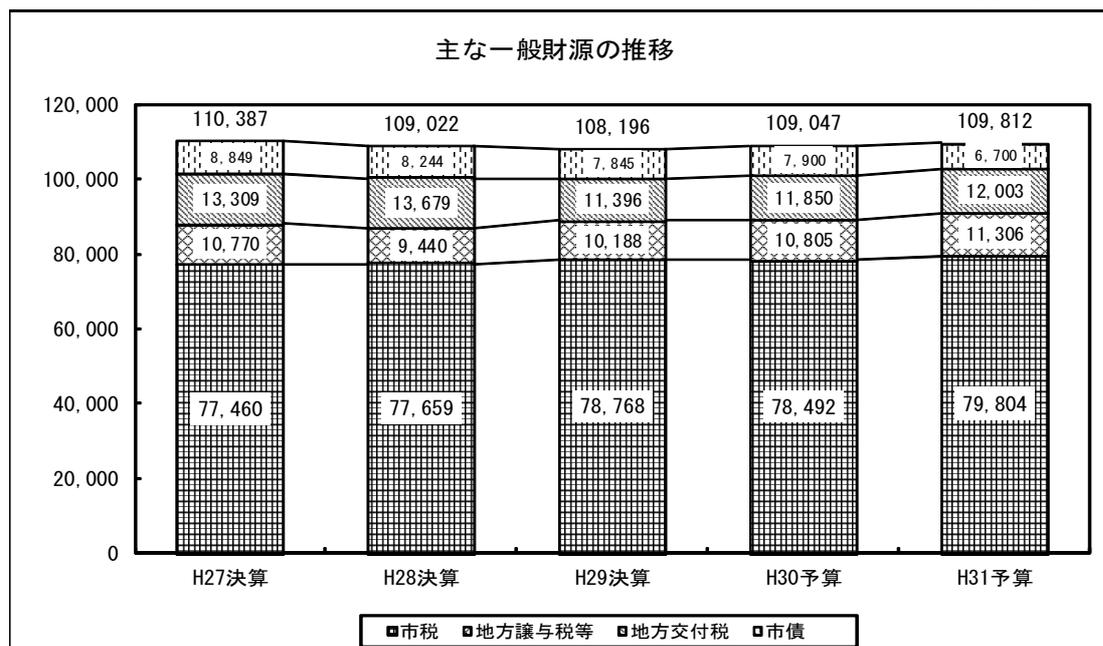
(単位：百万円)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | | |
| 市債発行額 | 目標管理対象分 | 14,104 | 13,059 | 9,667 | 8,214 | 7,016 | △ 1,198 |
| | 目標管理対象外 | 8,852 | 8,244 | 7,845 | 7,900 | 6,700 | △ 1,200 |
| | 臨時財政対策債 | 8,849 | 8,244 | 7,845 | 7,900 | 6,700 | △ 1,200 |
| | 臨財債以外 | 3 | - | - | - | - | - |
| | 借換債 | 4,698 | 2,302 | 3,012 | 8,280 | 3,991 | △ 4,288 |
| 合 計 | 27,654 | 23,605 | 20,524 | 24,393 | 17,707 | △ 6,686 | |
| 市債償還元金 | 目標管理対象分 | 15,575 | 15,666 | 14,863 | 15,488 | 16,792 | 1,304 |
| | うち早期償還分 | - | - | - | 2,000 | 3,000 | 1,000 |
| | 目標管理対象外 | 4,644 | 5,364 | 5,971 | 6,267 | 6,685 | 418 |
| | 借換分 | 4,698 | 2,302 | 3,012 | 8,280 | 3,991 | △ 4,288 |
| | 合 計 | 24,918 | 23,332 | 23,846 | 30,034 | 27,468 | △ 2,566 |

【主な一般財源】

市税や地方譲与税、地方交付税などの主な一般財源は 1,098 億 12 百万円で、前年度に比べ 7 億 65 百万円の増となっている。

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金額 | 率 |
| 市税 | 77,460 | 77,659 | 78,768 | 78,492 | 79,804 | 1,312 | 1.7 |
| うち個人市民税 | 23,214 | 23,539 | 23,740 | 24,027 | 24,601 | 574 | 2.4 |
| うち法人市民税 | 6,870 | 6,593 | 6,985 | 6,969 | 7,565 | 596 | 8.6 |
| うち固定資産税 | 33,186 | 33,325 | 33,864 | 33,450 | 33,631 | 181 | 0.5 |
| 地方譲与税等 | 10,770 | 9,440 | 10,188 | 10,805 | 11,306 | 500 | 4.6 |
| うち地方消費税交付金 | 8,254 | 7,414 | 7,666 | 8,250 | 8,250 | - | - |
| 地方交付税 | 13,309 | 13,679 | 11,396 | 11,850 | 12,003 | 153 | 1.3 |
| 市債 | 8,849 | 8,244 | 7,845 | 7,900 | 6,700 | △ 1,200 | △ 15.2 |
| 臨時財政対策債 | 8,849 | 8,244 | 7,845 | 7,900 | 6,700 | △ 1,200 | △ 15.2 |
| 合 計 | 110,387 | 109,022 | 108,196 | 109,047 | 109,812 | 765 | 0.7 |

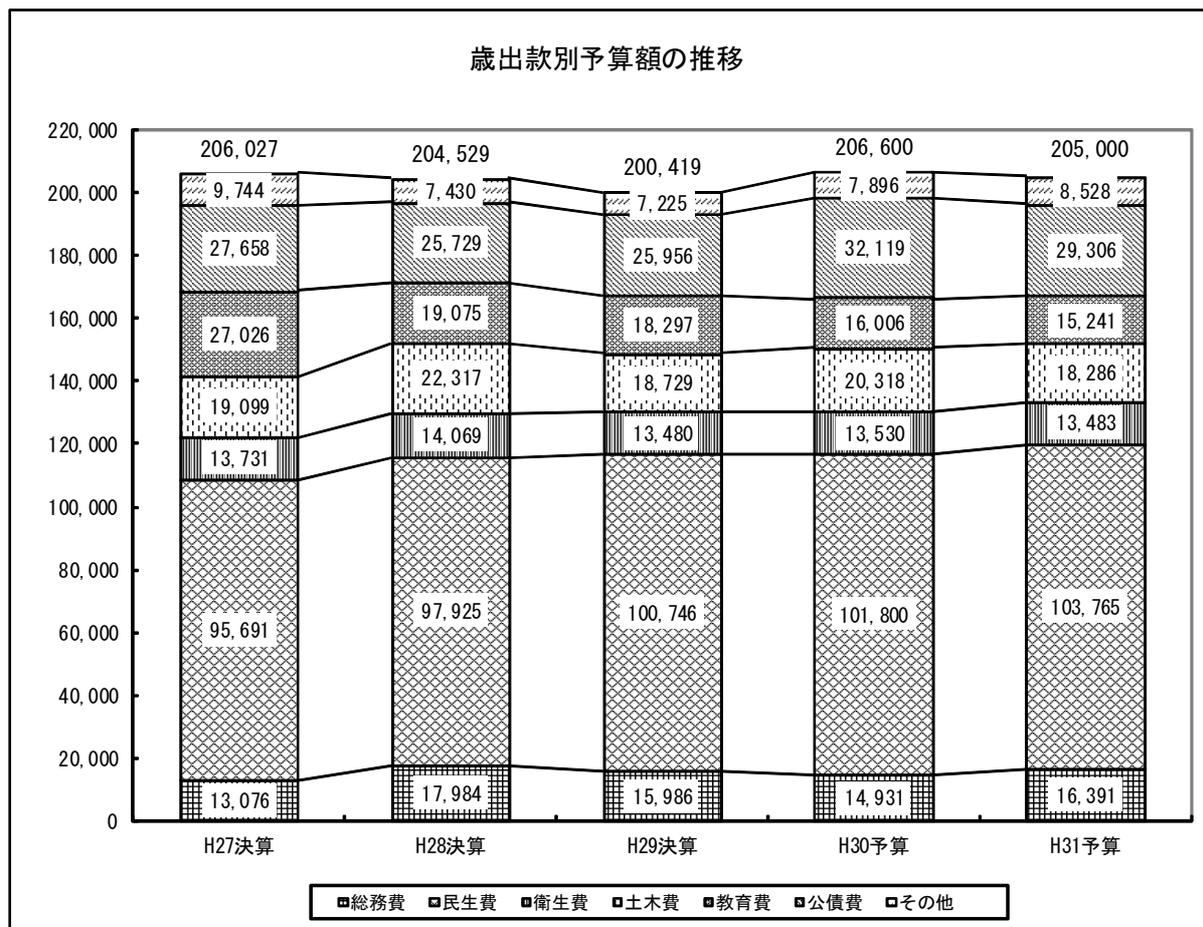
V 一般会計歳出予算額

○ 歳出款別予算額

一般会計の歳出予算額は、2,050 億円で、前年度と比べ 16 億円の減となっている。主な款別の予算額は、以下のとおりとなっている。

<歳出款別予算額の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | | H31 構成比 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金 額 | 率 | |
| 総務費 | 13,076 | 17,984 | 15,986 | 14,931 | 16,391 | 1,460 | 9.8 | 8.0 |
| 民生費 | 95,691 | 97,925 | 100,746 | 101,800 | 103,765 | 1,965 | 1.9 | 50.6 |
| 衛生費 | 13,731 | 14,069 | 13,480 | 13,530 | 13,483 | △ 47 | △ 0.3 | 6.6 |
| 土木費 | 19,099 | 22,317 | 18,729 | 20,318 | 18,286 | △ 2,031 | △ 10.0 | 8.9 |
| 教育費 | 27,026 | 19,075 | 18,297 | 16,006 | 15,241 | △ 765 | △ 4.8 | 7.4 |
| 公債費 | 27,658 | 25,729 | 25,956 | 32,119 | 29,306 | △ 2,813 | △ 8.8 | 14.3 |
| その他 | 9,744 | 7,430 | 7,225 | 7,896 | 8,528 | 632 | 8.0 | 4.2 |
| 歳出合計 | 206,027 | 204,529 | 200,419 | 206,600 | 205,000 | △ 1,600 | △ 0.8 | 100.0 |

- 1 総務費は、163 億 91 百万円で、その主な内容は、人件費 60 億 72 百万円（うち退職手当 9 億 73 百万円）、減債基金積立金 15 億 46 百万円である。
前年度と比べ 14 億 60 百万円の増となっているのは、減債基金積立金や生涯学習プラザ等整備事業費の増などによるものである。
- 2 民生費は、1,037 億 65 百万円で、その主な内容は、生活保護扶助費 333 億 25 百万円、障害者（児）自立支援事業費 93 億 32 百万円である。
前年度と比べ 19 億 65 百万円の増となっているのは、児童扶養手当給付関係事業費や介護保険事業費会計繰出金の増などによるものである。
- 3 衛生費は、134 億 83 百万円で、その主な内容は、人件費 34 億 19 百万円、公害病補償事業費 29 億 84 百万円である。
前年度と比べ 47 百万円の減となっているのは、焼却施設等整備事業費で増となったものの、斎場整備事業費の減などによるものである。
- 4 土木費は、182 億 86 百万円で、その主な内容は、下水道事業会計補助金 46 億 87 百万円、公共用地先行取得事業費会計繰出金 19 億 59 百万円である。
前年度と比べ 20 億 31 百万円の減となっているのは、市営住宅建替等事業費や尼崎宝塚線ほか 2 路線県施行街路事業地元負担金の減などによるものである。
- 5 教育費は、152 億 41 百万円で、その主な内容は、人件費 52 億 73 百万円（うち退職手当 3 億 80 百万円）、施設型給付費 16 億 33 百万円である。
前年度と比べ 7 億 65 百万円の減となっているのは、城内まちづくり整備事業費で増となったものの、尼崎養護学校移転事業費や旧梅香小学校敷地複合施設整備事業費の減などによるものである。
- 6 公債費は、293 億 6 百万円で、その主な内容は、市債償還元金 274 億 68 百万円である。
前年度と比べ 28 億 13 百万円の減となっているのは、市債の借換えの減に伴う市債償還元金の減などによるものである。
- 7 その他は、85 億 28 百万円で、前年度と比べ 6 億 32 百万円の増となっている。
 - (1) 議会費は、8 億 18 百万円で、その主な内容は、人件費 7 億 30 百万円である。
前年度と比べ 30 百万円の減となっているのは、議会事務局関係事業費の減などによるものである。
 - (2) 商工費は、24 億 74 百万円で、その主な内容は、プレミアム付商品券関係事業費 6 億 89 百万円、リサーチコア推進事業費 6 億 40 百万円である。
前年度と比べ 7 億 54 百万円の増となっているのは、プレミアム付商品券関係事業費の増などによるものである。

(3) 消防費は、48 億 25 百万円で、その主な内容は、人件費 40 億 12 百万円（うち退職手当 1 億 14 百万円）である。

前年度と比べ 92 百万円の減となっているのは、消防設備整備事業費で増となったものの退職手当の減などによるものである。

【債務負担行為】

債務負担行為は、尼崎市・伊丹市消防指令管制システム整備事業 15 億 31 百万円、生涯学習プラザ等整備事業 7 億 88 百万円などで、40 億 35 百万円となっている。

(単位：百万円)

| 区 分 | H27 予算 | H28 予算 | H29 予算 | H30 予算 | H31 予算 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 債務負担行為 | 797 | 20,864 | 4,670 | 8,179 | 4,035 |

【土地開発公社枠】

土地開発公社枠での用地の先行取得は、園田豊中線新設改良事業や尼崎城址公園整備事業などで、2 億 98 百万円となっている。

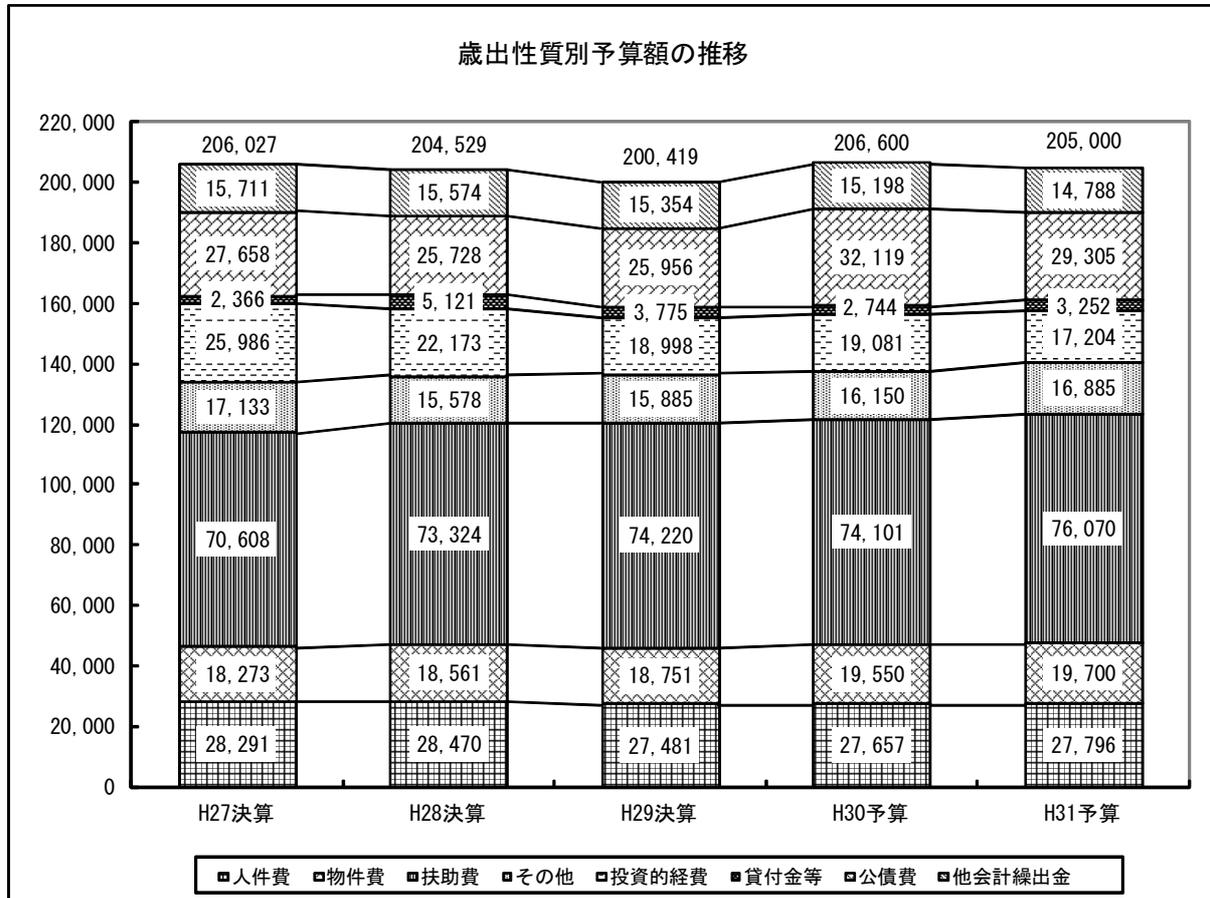
(単位：百万円)

| 区 分 | H27 予算 | H28 予算 | H29 予算 | H30 予算 | H31 予算 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 土地開発公社枠 | 320 | 310 | 283 | 617 | 298 |

○ 歳出性質別予算額

<歳出性質別予算額の推移>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | | H31 構成比 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金 額 | 率 | |
| 消費的経費 | 134,306 | 135,933 | 136,336 | 137,458 | 140,451 | 2,993 | 2.2 | 68.5 |
| 人件費 | 28,291 | 28,470 | 27,481 | 27,657 | 27,796 | 139 | 0.5 | 13.6 |
| 物件費 | 18,273 | 18,561 | 18,751 | 19,550 | 19,700 | 150 | 0.8 | 9.6 |
| 扶助費 | 70,608 | 73,324 | 74,220 | 74,101 | 76,070 | 1,969 | 2.7 | 37.1 |
| その他 | 17,133 | 15,578 | 15,885 | 16,150 | 16,885 | 735 | 4.6 | 8.2 |
| 投資的経費 | 25,986 | 22,173 | 18,998 | 19,081 | 17,204 | △ 1,878 | △ 9.8 | 8.4 |
| 貸付金等 | 2,366 | 5,121 | 3,775 | 2,744 | 3,252 | 508 | 18.5 | 1.6 |
| 公債費 | 27,658 | 25,728 | 25,956 | 32,119 | 29,305 | △ 2,813 | △ 8.8 | 14.3 |
| 他会計繰出金 | 15,711 | 15,574 | 15,354 | 15,198 | 14,788 | △ 410 | △ 2.7 | 7.2 |
| 歳出合計 | 206,027 | 204,529 | 200,419 | 206,600 | 205,000 | △ 1,600 | △ 0.8 | 100.0 |

1 消費的経費は、1,404 億 51 百万円で、前年度と比べ 29 億 93 百万円の増となっている。この主な内訳は、次のとおりとなっている。

(1) 人件費は 277 億 96 百万円で、その主な内容は、職員給与 186 億 60 百万円、退職手当 14 億 66 百万円である。

前年度と比べ 1 億 39 百万円の増となっているのは、退職手当で減となったものの、職員給与の増などによるものである。

<人件費の内訳>

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金額等 | 率 |
| 人件費 | 28,291 | 28,470 | 27,481 | 27,657 | 27,796 | 139 | 0.5 |
| 職員給与 | 18,368 | 18,379 | 18,575 | 18,323 | 18,659 | 337 | 1.8 |
| 退職手当 | 2,470 | 2,791 | 1,396 | 1,664 | 1,466 | △ 198 | △ 11.9 |
| その他 | 7,454 | 7,300 | 7,509 | 7,670 | 7,670 | 0 | 0.0 |

| | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---|-----|
| 職員数（人） | 2,782 | 2,798 | 2,837 | 2,803 | 2,807 | 4 | 0.1 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---|-----|

注 1 職員給与は、一般職にかかる給料及び職員手当（退職手当、児童手当を除く）の総額

注 2 職員数は、一般会計の一般職の職員数で、再任用短時間勤務職員を除く。

(参考)

| | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-----------|------|------|------|-----|
| ラスパ° イス指数 | 97.2 | 99.6 | 98.9 | - |

注 3 30年度数値は現時点で未公表

(2) 物件費は 197 億円で、その主な内容は、臨時職員賃金等 15 億 55 百万円、予防接種事業費 10 億 90 百万円である。

前年度と比べ 1 億 50 百万円の増となっているのは、クリーンセンター第 2 工場管理事業費で減となったものの、プレミアム付商品券関係事業費や尼崎城址公園指定管理者管理運営事業費の増などによるものである。

(3) 扶助費は 760 億 70 百万円で、その主な内容は、生活保護扶助費 333 億 25 百万円、施設型給付費 97 億 26 百万円である。

前年度と比べ 19 億 69 百万円の増となっているのは、施設型給付費や子育て支援施設等利用給付費の増などによるものである。

(4) その他（補助費等）は 168 億 85 百万円で、その主な内容は、後期高齢者医療療養給付費負担金 53 億 87 百万円、下水道事業会計補助金 41 億 18 百万円である。

前年度と比べ 7 億 35 百万円の増となっているのは、プレミアム付商品券関係事業費や後期高齢者医療療養給付費負担金の増などによるものである。

2 投資的経費は 172 億 4 百万円で、その主な内容は、市営住宅建替等事業費 18 億 18 百万円、生涯学習プラザ等整備事業費 15 億 39 百万円である。

前年度と比べ 18 億 78 百万円の減となっているのは、城内まちづくり整備事業費で増となったものの、尼崎養護学校移転事業費や市営住宅建替等事業費の減などによるものである。

3 貸付金等は 32 億 52 百万円で、その主な内容は、減債基金積立金 15 億 46 百万円、リサーチコア推進事業費 6 億 20 百万円である。

前年度と比べ 5 億 8 百万円の増となっているのは、減債基金積立金の増などによるものである。

4 公債費は 293 億 5 百万円で、その主な内容は、市債償還元金 274 億 68 百万円である。

前年度と比べ 28 億 13 百万円の減となっているのは、市債の借換えの減に伴う市債償還元金の減などによるものである。

5 他会計繰出金は 147 億 88 百万円で、その主な内容は、介護保険事業費会計繰出金 65 億 71 百万円、国民健康保険事業費会計繰出金 48 億 31 百万円である。

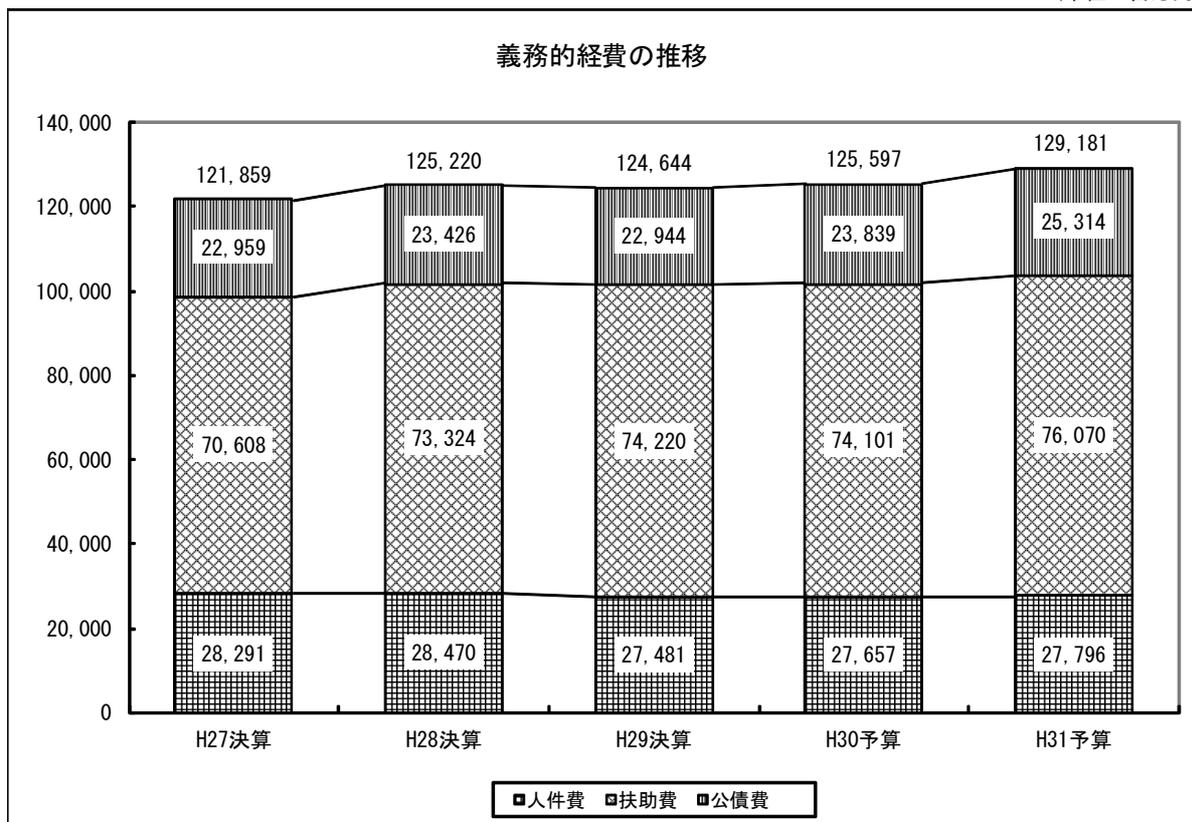
前年度と比べ 4 億 10 百万円の減となっているのは、介護保険事業費会計繰出金で増となったものの、国民健康保険事業費会計繰出金や公共用地先行取得事業費会計繰出金の減などによるものである。

【義務的経費】

義務的経費は 1,291 億 81 百万円で、前年度と比べ 35 億 83 百万円の増となっているのは、扶助費や公債費の増などによるものである。

<義務的経費の内訳>

(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

| 区 分 | 決 算 | | | 当初予算 | | 前年増減 | | H31 構成比 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-----|------------|
| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | 金額等 | 率 | |
| 人件費 | 28,291 | 28,470 | 27,481 | 27,657 | 27,796 | 139 | 0.5 | 13.6 |
| 扶助費 | 70,608 | 73,324 | 74,220 | 74,101 | 76,070 | 1,969 | 2.7 | 37.1 |
| 公債費 | 22,959 | 23,426 | 22,944 | 23,839 | 25,314 | 1,475 | 6.2 | 12.3 |
| 義務的経費 | 121,859 | 125,220 | 124,644 | 125,597 | 129,181 | 3,583 | 2.9 | 63.0 |
| 歳出に占める比率 | 59.1 | 61.2 | 62.2 | 60.8 | 63.0 | 2.2 | | |

注 公債費は、借換分を除く。

各種当初予算数値

平成 31 年度 当初予算

1 会計別予算規模

(単位：千円、%)

| 会 計 | 平 成 31 年 度 | | | 平 成 30 年 度 | | | 比較増減 |
|---------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | |
| 一 般 会 計 | 205,000,000 | 53.9 | 99.2 | 206,600,000 | 54.0 | 102.4 | △ 1,600,000 |
| 特 別 会 計 | 100,942,742 | 26.5 | 101.5 | 99,469,668 | 26.0 | 88.9 | 1,473,074 |
| 小 計 | 305,942,742 | 80.4 | 100.0 | 306,069,668 | 80.0 | 97.6 | △ 126,926 |
| 企 業 会 計 | 74,731,060 | 19.6 | 97.9 | 76,372,023 | 20.0 | 113.9 | △ 1,640,963 |
| 合 計 | 380,673,802 | 100.0 | 99.5 | 382,441,691 | 100.0 | 100.5 | △ 1,767,889 |

| | | | | | | | | |
|------------------|---------------|-----------|---|------|-----------|---|-------|-------------|
| 一 般 会 計 | 債務負担 為 | 4,035,040 | / | 49.3 | 8,178,738 | / | 175.2 | △ 4,143,698 |
| | 土地開発 公 社 株 | 298,000 | / | 48.3 | 617,000 | / | 218.0 | △ 319,000 |

2 会計別当初予算額

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成 31 年度 | | | 平成 30 年度 | | | 比較増減 | 増 減 額 の 主 な 理 由 | |
|------------------|-----------------|------------|-------|-------------|------------|-------|-------------|-----------------|---|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | | | |
| 一 般 会 計 | 205,000,000 | 53.9 | 99.2 | 206,600,000 | 54.0 | 102.4 | △ 1,600,000 | | |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険事業費 | 49,315,513 | 13.0 | 101.2 | 48,729,902 | 12.7 | 77.6 | 585,611 | 基金積立金 保険給付費 3,320,000 △2,622,845 |
| | 地方卸売市場事業費 | 335,286 | 0.1 | 110.3 | 303,991 | 0.1 | 80.8 | 31,295 | |
| | 育英事業費 | 8,376 | 0.0 | 100.0 | 8,380 | 0.0 | 104.5 | △ 4 | |
| | 農業共済事業費 | 16,664 | 0.0 | 90.9 | 18,327 | 0.0 | 110.2 | △ 1,663 | |
| | 公共用地先行取得事業費 | 2,061,194 | 0.5 | 91.9 | 2,243,470 | 0.6 | 78.3 | △ 182,276 | 公債費 △ 182,276 |
| | 公害病認定患者救済事業費 | 26,183 | 0.0 | 96.4 | 27,174 | 0.0 | 89.2 | △ 991 | |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 | 26,944 | 0.0 | 114.8 | 23,477 | 0.0 | 87.3 | 3,467 | |
| | 青少年健全育成事業費 | 9,248 | 0.0 | 96.6 | 9,576 | 0.0 | 99.0 | △ 328 | |
| | 介護保険事業費 | 42,982,005 | 11.3 | 101.6 | 42,286,128 | 11.1 | 105.4 | 695,877 | 保険給付費 地域支援事業費 822,038 △78,785 |
| | 後期高齢者医療事業費 | 6,161,329 | 1.6 | 105.9 | 5,819,243 | 1.5 | 104.4 | 342,086 | 後期高齢者医療広域連合 納付金 329,682 |
| 小 計 | 100,942,742 | 26.5 | 101.5 | 99,469,668 | 26.0 | 88.9 | 1,473,074 | | |
| 企 業 会 計 | 水道事業 | 11,848,938 | 3.1 | 95.8 | 12,371,477 | 3.3 | 100.8 | △ 522,539 | 施設整備事業費 建設改良費 △1,121,779 520,455 |
| | 工業用水道事業 | 2,023,468 | 0.5 | 100.0 | 2,023,229 | 0.5 | 82.8 | 239 | 施設整備事業費 特別損失 △83,595 △56,698 |
| | 下水道事業 | 20,275,639 | 5.3 | 95.0 | 21,340,442 | 5.6 | 104.1 | △ 1,064,803 | 償還金 建設改良費 △661,885 △320,765 △99,102 |
| | モーターボート競走事業 | 40,583,015 | 10.7 | 99.9 | 40,636,875 | 10.6 | 127.6 | △ 53,860 | 営業費用 投資有価証券 △1,206,512 1,280,000 |
| | 小 計 | 74,731,060 | 19.6 | 97.9 | 76,372,023 | 20.0 | 113.9 | △ 1,640,963 | |
| 合 計 | 380,673,802 | 100.0 | 99.5 | 382,441,691 | 100.0 | 100.5 | △ 1,767,889 | | |

3 一般会計歳入予算額①

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成 31 年度 | | | 平成 30 年度 | | | 比較増減 | 増 減 額 の 主 な 理 由 |
|----------------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|--|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | | |
| 05 市税 | 79,803,695 | 38.9 | 101.7 | 78,492,031 | 38.0 | 100.9 | 1,311,664 | 法人市民税 596,448 個人市民税 574,453 固定資産税 181,306 |
| 10 地方譲与税 | 756,001 | 0.4 | 101.3 | 746,301 | 0.4 | 102.6 | 9,700 | |
| 11 利子割交付金 | 85,000 | 0.0 | 114.9 | 74,000 | 0.0 | 82.2 | 11,000 | |
| 12 配当割交付金 | 392,000 | 0.2 | 110.7 | 354,000 | 0.2 | 84.9 | 38,000 | |
| 13 株式等譲渡所得割交付金 | 625,000 | 0.3 | 98.0 | 638,000 | 0.3 | 159.9 | △ 13,000 | |
| 14 地方消費税交付金 | 8,250,000 | 4.0 | 100.0 | 8,250,000 | 4.0 | 105.4 | - | |
| 16 自動車取得税交付金 | 152,000 | 0.1 | 52.2 | 291,000 | 0.1 | 126.0 | △ 139,000 | |
| 17 環境性能割交付金 | 60,000 | 0.0 | 皆増 | - | - | - | 60,000 | |
| 18 地方特例交付金 | 920,605 | 0.5 | 240.4 | 383,000 | 0.2 | 123.5 | 537,605 | 子ども・子育て支援臨時交付金 494,605 |
| 20 地方交付税 | 12,003,000 | 5.9 | 101.3 | 11,850,000 | 5.7 | 112.3 | 153,000 | 普通交付税 161,000 |
| 25 交通安全対策特別交付金 | 65,000 | 0.0 | 94.2 | 69,000 | 0.0 | 98.6 | △ 4,000 | |
| 30 分担金及び負担金 | 1,141,159 | 0.6 | 75.9 | 1,502,649 | 0.7 | 95.3 | △ 361,490 | 児童福祉費負担金 △368,320 福祉施設入所者等自己負担金 7,788 |
| 35 使用料及び手数料 | 6,866,967 | 3.3 | 99.2 | 6,924,996 | 3.4 | 101.2 | △ 58,029 | 保育所使用料 △91,429 幼稚園保育料 △40,660 尼崎城天守等使用料 65,862 |
| 40 国庫支出金 | 48,926,251 | 23.9 | 103.4 | 47,301,593 | 22.9 | 98.0 | 1,624,658 | 施設型給付費負担金 611,518 プレミアム付商品券事業費 480,250 補助金 |
| 45 県支出金 | 13,327,637 | 6.5 | 107.4 | 12,408,059 | 6.0 | 100.1 | 919,578 | 施設型給付費負担金 352,237 選挙委託金 194,074 兵庫東流域下水汚泥処理事業 185,456 周辺整備委託金 |
| 50 財産収入 | 2,209,340 | 1.1 | 136.5 | 1,618,699 | 0.8 | 61.4 | 590,641 | 不動産売却収入 581,048 |
| 55 寄付金 | 59,464 | 0.0 | 48.2 | 123,463 | 0.1 | 86.9 | △ 63,999 | 総務費寄付金 △61,240 |
| 60 繰入金 | 5,300,713 | 2.6 | 113.5 | 4,671,055 | 2.3 | 119.9 | 629,658 | 減債基金繰入金 1,114,359 公共施設整備保全基金繰入金 △224,202 財政調整基金繰入金 △150,000 |
| 65 繰越金 | 1 | 0.0 | 100.0 | 1 | 0.0 | 100.0 | - | |
| 70 諸収入 | 6,348,767 | 3.1 | 97.5 | 6,508,753 | 3.1 | 94.1 | △ 159,986 | 中小企業資金融資あっ旋預託金 △102,800 回収金 公害健康被害補償給付費等収入 △59,607 |
| 75 市債 | 17,707,400 | 8.6 | 72.6 | 24,393,400 | 11.8 | 118.5 | △ 6,686,000 | 借換債 △4,288,400 臨時財政対策債 △1,200,000 学校施設整備事業債 △1,048,800 |
| 合 計 | 205,000,000 | 100.0 | 99.2 | 206,600,000 | 100.0 | 102.4 | △ 1,600,000 | |

4 一般会計歳入予算額②

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成 31 年度 | | | 平成 30 年度 | | | 比較増減 | 増 減 額 の 主 な 理 由 |
|----------------------------------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|--|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | | |
| 市税 | 79,803,695 | 38.9 | 101.7 | 78,492,031 | 38.0 | 100.9 | 1,311,664 | 法人市民税 596,448 個人市民税 574,453 固定資産税 181,306 |
| 使用料及び手数料 | 6,866,967 | 3.3 | 99.2 | 6,924,996 | 3.4 | 101.2 | △ 58,029 | 保育所使用料 △91,429 幼稚園保育料 △40,660 尼崎城天守等使用料 65,862 |
| 繰入金 | 5,300,713 | 2.6 | 113.5 | 4,671,055 | 2.3 | 119.9 | 629,658 | 減債基金繰入金 1,114,359 公共施設整備保全基金繰入金 △224,202 財政調整基金繰入金 △150,000 |
| その他 | 9,758,731 | 4.8 | 100.1 | 9,753,565 | 4.7 | 86.5 | 5,166 | 不動産売却収入 581,048 児童福祉費負担金 △368,320 中小企業資金融資あっ旋預託金回収金 △102,800 総務費寄付金 △61,240 |
| 自 主 財 源 | 101,730,106 | 49.6 | 101.9 | 99,841,647 | 48.4 | 100.0 | 1,888,459 | |
| 地方交付税 | 12,003,000 | 5.9 | 101.3 | 11,850,000 | 5.7 | 112.3 | 153,000 | 普通交付税 161,000 |
| 国庫支出金 | 48,926,251 | 23.9 | 103.4 | 47,301,593 | 22.9 | 98.0 | 1,624,658 | 施設型給付費負担金 611,518 プレミアム付商品券事業費補助金 480,250 子育て支援施設等利用給付費負担金 294,328 障害者(児)自立支援事業費負担金 281,869 |
| 県支出金 | 13,327,637 | 6.5 | 107.4 | 12,408,059 | 6.0 | 100.1 | 919,578 | 施設型給付費負担金選挙委託金 352,237 選挙委託金 194,074 兵庫東流域下水汚泥処理事業周辺整備委託金 185,456 |
| 市債 | 17,707,400 | 8.6 | 72.6 | 24,393,400 | 11.8 | 118.5 | △ 6,686,000 | 借換債 △4,288,400 臨時財政対策債 △1,200,000 学校施設整備事業債 △1,048,800 |
| その他 | 11,305,606 | 5.5 | 104.6 | 10,805,301 | 5.2 | 107.3 | 500,305 | 子ども・子育て支援臨時交付金 494,605 |
| 依 存 財 源 | 103,269,894 | 50.4 | 96.7 | 106,758,353 | 51.6 | 104.8 | △ 3,488,459 | |
| 合 計 | 205,000,000 | 100.0 | 99.2 | 206,600,000 | 100.0 | 102.4 | △ 1,600,000 | |
| 一般財源 (市税、地方譲与税、 地方交付税等の合計) | 109,812,301 | 53.6 | 100.7 | 109,047,332 | 52.8 | 101.7 | 764,969 | |

5 一般会計歳出款別予算額

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成 31 年度 | | | 平成 30 年度 | | | 比較増減 | 増 減 額 の 主 な 理 由 |
|-----------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|---|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | | |
| 05 議会費 | 817,733 | 0.4 | 96.4 | 848,004 | 0.4 | 104.1 | △ 30,271 | 人件費 △4,345 議会事務局関係事業費 △25,850 |
| 10 総務費 | 16,390,834 | 8.0 | 109.8 | 14,931,039 | 7.2 | 100.8 | 1,459,795 | 人件費(退職手当を除く) 376,516 退職手当 63,354 減債基金積立金 560,869 生涯学習プラザ等整備事業費 426,323 公共施設整備保全基金積立金 155,155 城内まちづくり推進事業費 △280,664 |
| 15 民生費 | 103,765,328 | 50.6 | 101.9 | 101,800,084 | 49.3 | 100.0 | 1,965,244 | 人件費 198,083 児童扶養手当給付関係事業費 496,696 介護保険事業費会計繰出金 364,203 障害児通所支援等給付費 361,610 青少年センター解体事業費 309,006 地域型保育給付費 280,917 |
| 20 衛生費 | 13,482,914 | 6.6 | 99.7 | 13,529,927 | 6.6 | 97.0 | △ 47,013 | 人件費 30,554 斎場整備事業費 △166,000 クリーンセンター第2工場管理事業費 △94,223 焼却施設等整備事業費 136,267 |
| 25 労働費 | 160,470 | 0.1 | 99.0 | 162,112 | 0.1 | 108.6 | △ 1,642 | 人件費 11,919 しごと支援施設維持管理事業費 △10,609 中小企業就業者確保支援事業費 △2,740 |
| 30 農林水産業費 | 128,508 | 0.1 | 106.2 | 120,971 | 0.1 | 107.4 | 7,537 | 人件費 4,476 農業振興対策事業費 1,999 |
| 35 商工費 | 2,474,488 | 1.2 | 143.8 | 1,720,365 | 0.8 | 100.5 | 754,123 | 人件費 108,064 プレミアム付商品券関係事業費 688,568 あまがさき観光局補助金 90,825 中小企業資金融資制度関係事業費 △103,777 |
| 40 土木費 | 18,286,452 | 8.9 | 90.0 | 20,317,893 | 9.8 | 99.8 | △ 2,031,441 | 人件費 △85,694 市営住宅建替等事業費 △1,018,599 尼崎宝塚線ほか2路線県施行街路事業地元負担金 △650,000 駐輪施設等維持管理事業費 △211,915 公共用地先行取得事業費会計繰出金 △168,280 |
| 45 消防費 | 4,825,483 | 2.4 | 98.1 | 4,917,744 | 2.4 | 105.7 | △ 92,261 | 人件費(退職手当を除く) 50,411 退職手当 △172,074 通信活動事業費 △14,572 消防設備整備事業費 66,809 |
| 50 教育費 | 15,240,587 | 7.4 | 95.2 | 16,005,757 | 7.8 | 93.7 | △ 765,170 | 人件費(退職手当を除く) △353,226 退職手当 △89,196 尼崎養護学校移転事業費 △1,448,000 旧梅香小学校敷地複合施設整備事業費 △561,207 城内まちづくり整備事業費 1,436,016 施設型給付費 561,179 |
| 53 災害復旧費 | 1 | 0.0 | 100.0 | 1 | 0.0 | 100.0 | - | |
| 55 公債費 | 29,305,565 | 14.3 | 91.2 | 32,118,876 | 15.5 | 123.1 | △ 2,813,311 | 市債元金 △2,566,495 市債利子 △231,717 (借換分を除くと 1,475,089) |
| 60 諸支出金 | 21,637 | 0.0 | 79.5 | 27,227 | 0.0 | 98.8 | △ 5,590 | 阪神水道企業団出資金 △5,746 |
| 65 予備費 | 100,000 | 0.0 | 100.0 | 100,000 | 0.0 | 100.0 | - | |
| 合 計 | 205,000,000 | 100.0 | 99.2 | 206,600,000 | 100.0 | 102.4 | △ 1,600,000 | |

6 一般会計歳出性質別予算額

(単位：千円、%)

| 区 分 | 平成 31 年度 | | | 平成 30 年度 | | | 比較増減 | 増 減 額 の 主 な 理 由 |
|---------------------------------|-------------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------------|--|
| | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | 当初予算額 | 構成比 | 前年度比 | | |
| 人件費 | 27,795,788 | 13.6 | 100.5 | 27,656,946 | 13.4 | 101.6 | 138,842 | 人件費（退職手当を除く） 336,758 退職手当 △197,916 |
| 物件費 | 19,699,642 | 9.6 | 100.8 | 19,550,139 | 9.5 | 100.2 | 149,503 | プレミアム付商品券関係事業費 119,768 尼崎城址公園指定管理者管理運営事業費 107,219 公園維持管理事業費 52,816 クリーンセンター第2工場管理事業費 △90,430 市営住宅維持管理事業費 △47,986 |
| 扶助費 | 76,070,445 | 37.1 | 102.7 | 74,101,119 | 35.9 | 99.6 | 1,969,326 | 施設型給付費 775,152 子育て支援施設等利用給付費 588,657 児童扶養手当給付関係事業費 497,062 障害児通所支援等給付費 361,607 生活保護扶助費 △673,343 |
| その他 | 16,885,245 | 8.2 | 104.6 | 16,150,027 | 7.8 | 102.7 | 735,218 | プレミアム付商品券関係事業費 567,720 後期高齢者医療費給付費負担金 158,630 乗合自動車特別乗車証交付事業費 95,804 私立幼稚園就園奨励等補助金 △178,671 |
| 消費的経費 | 140,451,120 | 68.5 | 102.2 | 137,458,231 | 66.6 | 100.4 | 2,992,889 | |
| 普通建設事業費 | 17,203,566 | 8.4 | 90.2 | 19,081,403 | 9.2 | 98.6 | △ 1,877,837 | 尼崎養護学校移転事業費 △1,448,000 市営住宅建替等事業費 △1,018,599 旧梅香小学校敷地複合施設整備事業費 △815,900 城内まちづくり整備事業費 1,449,705 |
| 災害復旧事業費 | 1 | 0.0 | 100.0 | 1 | 0.0 | 100.0 | - | |
| 投資的経費 | 17,203,567 | 8.4 | 90.2 | 19,081,404 | 9.2 | 98.6 | △ 1,877,837 | |
| 貸付金等 | 3,152,275 | 1.6 | 119.2 | 2,643,963 | 1.3 | 75.8 | 508,312 | 減債基金積立金 560,869 公共施設整備保全基金積立金 155,155 中小企業資金融資制度関係事業費 △102,800 |
| 公債費 | 29,305,467 | 14.3 | 91.2 | 32,118,777 | 15.5 | 123.1 | △ 2,813,310 | 市債元金 △2,566,495 市債利子 △231,717 (借換分を除くと 1,475,090) |
| 他会計繰出金 | 14,787,571 | 7.2 | 97.3 | 15,197,625 | 7.4 | 96.1 | △ 410,054 | 国民健康保険事業費会計繰出金 △652,165 公共用地先行取得事業費会計繰出金 △182,320 介護保険事業費会計繰出金 397,463 |
| 予備費 | 100,000 | 0.0 | 100.0 | 100,000 | 0.0 | 100.0 | - | |
| 合 計 | 205,000,000 | 100.0 | 99.2 | 206,600,000 | 100.0 | 102.4 | △ 1,600,000 | |
| 義務的経費 (人件費、扶助費、借換債を除く公債費の合計) | 129,180,600 | 63.0 | 102.9 | 125,597,342 | 60.8 | 100.7 | 3,583,258 | |
| 公債費のうち借換に伴うもの | 3,991,100 | | 48.2 | 8,279,500 | | 274.9 | △ 4,288,400 | |

7 基金現在高集計表

(単位：千円)

| | 平成29年度末 現在高 | 平成30年度末 現在高見込 | 平成31年度増減 | | 平成31年度末 現在高見込 |
|----------------|----------------|------------------|-----------|-----------|------------------|
| | | | 積立額 | 取崩額 | |
| 財政調整基金 | 6,151,371 | 6,775,648 | 14,798 | 2,050,000 | 4,740,446 |
| 減債基金 | 8,045,436 | 7,853,491 | 1,545,815 | 3,136,237 | 6,263,069 |
| 公共施設整備保全基金 | 3,082,591 | 3,383,428 | 239,752 | 15,904 | 3,607,276 |
| 公害病認定患者救済事業基金 | 252,917 | 235,908 | - | 15,611 | 220,297 |
| 市民福祉振興基金 | 1,704,464 | 1,714,732 | 4,981 | 23,186 | 1,696,527 |
| 環境基金 | 695,193 | 705,007 | 33,583 | 43,312 | 695,278 |
| 緑化基金 | 602,323 | 598,415 | 3,543 | 3,317 | 598,641 |
| 育英事業基金 | 511,431 | 505,228 | - | 6,878 | 498,350 |
| 動物愛護基金 | 31,306 | 36,931 | 13,810 | 8,962 | 41,779 |
| 富松住宅管理基金 | 195,183 | 210,005 | 4,051 | - | 214,056 |
| 青少年健全育成基金 | 441,512 | 441,624 | 3,680 | 4,183 | 441,121 |
| 教育振興基金 | 207,389 | 216,349 | 12,698 | 14,050 | 214,997 |
| 新本庁舎建設基金 | 513,528 | 767,503 | 253,110 | - | 1,020,613 |
| みんなの尼崎城基金 | 208,070 | 174,511 | 8,802 | - | 183,313 |
| 文化振興基金 | - | 11,800 | 3,301 | 4,000 | 11,101 |
| 暴力団排除活動支援基金 | - | - | 4,001 | - | 4,001 |
| 歴史博物館資料取得基金(※) | 150,000 | 150,000 | - | - | 150,000 |
| 介護給付費準備基金 | 1,788,215 | 1,982,787 | 4,956 | 493,995 | 1,493,748 |
| 国民健康保険事業基金 | - | - | 3,320,000 | - | 3,320,000 |
| 合計 | 24,580,929 | 25,763,367 | 5,470,881 | 5,819,635 | 25,414,613 |

※ 歴史博物館資料取得基金の現在高は、資料を含む。

用語解説

| 語 句 | 解 説 |
|---------------------------------|---|
| ア行 | |
| あまがさき 「未来へつな ぐ」プロジェ クト | 平成 25 年 3 月に策定した、平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間で計画期間とする行財政改革計画。平成 29 年 11 月に前半 5 年間の行財政改革の成果等を踏まえながら中間総括を行い、最終目標である「持続可能な行財政基盤の確立」の実現に向けて、新たな構造改善目標や財政規律などを整理している。 |
| 依存財源 | 国（都道府県）の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいい、地方交付税、国庫支出金、都道府県支出金、地方譲与税等がこれに該当する。 |
| 一般会計 | 福祉、教育、道路・公園の整備など、市政の基本的な事業に関する会計のこと。特別会計、企業会計以外の事業はすべて一般会計に含まれる。 |
| カ行 | |
| 借換債 | 過去に借り入れた地方債を、特定の年度（概ね借り入れから 10 年目）に、元金の残額をいったん全額返済し、再度同額を新たな金利で借り直すこと。いったん返済した額と同額を借り入れるため地方債現在高には影響しない。 |
| 企業会計 | 上下水道事業やモーターボート競走事業など、民間の企業的な性格をもった事業を経理する会計の総称のこと。本市では 4 会計ある。 |
| 基金 | 特定の目的のために資金を積み立てるための基金（積立基金）と、特定の目的のために定額の資金を運用する基金（定額運用基金）がある。本市の場合、積立基金としては、財政調整基金、減債基金、公共施設整備保全基金などがある。定額運用基金としては、歴史博物館資料取得基金がある。 |
| 基準財政収入額 | 各自治体の普通交付税の計算に用いるもので、各自治体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる地方税収入のうち一定割合（概ね 75%）により算出された収入額である。 |
| 基準財政需要額 | 各自治体の普通交付税の計算に用いるもので、各自治体が標準的な行政を合理的水準で実施したと考えたときに必要と想定される「一般財源の額」であり、各自治体が実際に支出した額あるいは支出しようとする額ではなく、各団体の人口等を基礎として、行政費目ごとに一定の方法で算出された需要額である。 |
| 義務的経費 | 性質別経費のうち義務的・非弾力的性格の強い経費で、一般的には人件費、扶助費及び公債費を指す。人件費は経常的に支出を予定せざるを得ないものであり、扶助費は生活扶助をはじめ法令の規定によって支出が義務づけられている。また、公債費は負債の償還に要する経費となっている。 |

| 語 句 | 解 説 |
|----------------|--|
| 公共施設マネジメント計画 | <p>本市の公共施設全体に対して中長期的視点で、量、質、運営コスト等の最適化を目指す計画であり、「尼崎市公共施設マネジメント基本方針」に①「圧縮と再編」、②「予防保全による長寿命化」、③「効率的・効果的な運営」の 3 つの方針を掲げている。</p> <p>平成 31 年 1 月には、圧縮と再編に係る取組として、見直し対象施設の規模、場所、スケジュールなどの具体的取組内容を素案として公表するとともに、予防保全による長寿命化の取組として、具体的取組を盛り込んだ「第 1 次保全計画」を策定している。</p> <p>①「圧縮と再編」の取組に伴い生じる不動産売却収入については、原則として基金に積み立て、施設の整備等に際して発行した市債の償還等に充当する。</p> |
| 子ども・子育て支援臨時交付金 | <p>平成 31 年 10 月から実施される幼児教育・保育の無償化に係る経費について、平成 31 年度は消費税率引上げに伴う地方の増収が僅かであることから、地方負担分を措置するために創設される臨時交付金。</p> |
| サ行 | |
| 債務負担行為 | <p>歳出予算の金額、継続費の総額又は繰越明許費の金額に含まれているものを除く、予算に定められた将来にわたる地方公共団体の債務を負担する行為のこと。</p> |
| 債務保証 | <p>円滑な事業の推進を図るため、法人（土地開発公社等）が金融機関等から受ける融資に対し、債務が履行されない場合、地方公共団体が返済等の代位弁済を定めた契約を締結すること。</p> |
| 市債 | <p>市が資金調達のために一会計年度を超えて返済する債務のことで、地方債を起こすことを起債という。ちなみに、国が起こすのを国債、地方が起こすのを地方債と分けているが、市が起こすので市債とも呼ぶ。</p> |
| 市債現在高 | <p>地方公共団体が資金調達するための市債の借入金残高</p> |
| 市債の早期償還 | <p>あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト中間総括において設定した、プロジェクト後半の財政目標の一つであり、行政改革推進債や退職手当債などの市債について、借換債を発行せずに、減債基金を活用し、市債の償還を行うこと。</p> |
| 自主財源 | <p>地方自治体が自主的に収入し得る財源をいい、地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金等がこれに該当する。</p> |
| 消費的経費 | <p>人件費、扶助費、物件費、維持補修費、負担金補助及び交付金等で、その経費の支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるものをいい、後年度に形を残さない性質の経費</p> |
| 損失補償 | <p>特定の事業の振興等を図るため、特定の団体が金融機関等から融資を受ける場合、その融資が返済不能となり、金融機関等が損失を被ったときに地方公共団体が融資を受けた団体に代わって損失を補償（穴埋め）すること。</p> |

| 語 句 | 解 説 |
|--------------|---|
| 夕行 | |
| 退職手当債 | 地方公共団体の退職職員に支給すべき退職手当の財源に充てるために起こす地方債であり、特例債のひとつである。 |
| 地方交付税 | <p>地方自治体間の財源の不均衡を調整し、すべての自治体が一定の行政水準を維持できるよう財源を保障するため、所得税、法人税、酒税、消費税の一定割合と地方法人税の全額を国から地方に交付するもので、国庫補助金などと異なり、その用途は特定されない。</p> <p>地方交付税のうち、総額の 94%は普通交付税、6%は特別交付税として交付される。</p> <p>普通交付税は、自治体ごとに算定される基準財政需要額が基準財政収入額を超える場合、その超える額を財源不足額として交付されるものであり、一方、特別交付税は、災害等のほか、特別な財政需要など普通交付税の算定に反映されなかった具体的な事情を考慮して交付されるもの。</p> |
| 投資的経費 | その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費 |
| 特別会計 | 特定の事業を特定の歳入でもって実施するための会計の総称のこと。国民健康保険事業費や介護保険事業費といった会計で構成している。本市では 10 会計ある。 |
| 土地開発公社 枠 | 公共用地などの取得、管理、処分などを行うことを目的に設立された土地開発公社により、道路・公園などに必要な土地、自然環境を保全することが特に必要な土地などを「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づき、取得するための経費のこと。 |
| ラ行 | |
| ラスパイレ ス指数 | 国家公務員の給料を基準とした地方公務員の給与水準を示すもので、地方公共団体の職員構成（学歴別、経験年数別構成）が、国の構成と同一であると仮定した給与総額の比較により算出する。 |
| 臨時財政対策 債 | <p>地方財源の不足に対応するため、各自治体において発行が認められる地方債で、通常の地方債と異なり、一般財源として取り扱うこととなっている。</p> <p>この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度、基準財政需要額に算入されることとなっている。</p> |

